

学校要覧 2016

島根県立農林大学校

Shimane Prefectural College for Agriculture and Forestry



沿革

- ◆昭和 10 年 三瓶農民道場設立
昭和 20 年 開拓増産修練農場 に改称
昭和 21 年 三瓶修練農場 //
- ◆昭和 23 年 三瓶農事指導所 //
- ◆昭和 24 年 三瓶経営伝習農場 //
- ◆昭和 26 年 三瓶経営伝習農場を廃止し、
農業経営研修所を農事試験場に併設
- ◆昭和 38 年 農林総合研修所を出雲市に新設
付属施設
養蚕研修所
畜産研修所
林業研修所
- ◆昭和 54 年 農林総合研修所を廃止し島根県立農業大学校新設
- ◆昭和 56 年 大田市に移転
- ◆昭和 57 年 農業大学校に養成部門、研修部門を置き新農業大学校となる
- ◆平成 18 年 林業科飯南町（中山間地域研究センター内）へ移転
- ◆平成 24 年 農林大学校に改称、有機農業専攻を新設



教育の目的と基本方針

| | |
|-------|--|
| 目的 | 次代の島根県の農林業をリードする農業者及び森林管理技術者の養成 |
| 基本方針 | <ul style="list-style-type: none">● 高度な農林業技術と専門的知識を習得し、経営管理能力を養う。● 広い視野に立って農林業を考え、技術革新、経営改善に積極的に取り組み、新しい農林業を創造する能力を養う。● 先見性を持って流動的な社会情勢に対応するための分析力、判断力、行動力を養う。● 農林業生産及び農山村社会におけるリーダーとして必要な指導力、企画力、調整力を養う。 |
| 教育の特徴 | <ul style="list-style-type: none">● 実習を重視した実践教育 午前講義、午後実習が日課の基本／毎日が必須授業／農業者、森林管理技術者になるための専門学習に特化 |
| | <ul style="list-style-type: none">● 学生主体のプロジェクト学習 講義で学習したことを実習を通じて実践的・総合的に学習／学生が各自のテーマを持ち、主体的に実習に取り組む |

教育体系

本校には養成部門と研修部門の2部門があります。

養成部門

高校卒業程度を対象にした2年間の学習課程

研修部門

新規就農希望の方、農林業経営の改善を図りたい方などのためのさまざまな研修を実施

養成部門

- ・入学資格は高校卒業程度
- ・希望入寮制

| 科名 | 専攻 | 定員 | 修業場所 | 修業年限 |
|-----|------|-----|-----------|------|
| 農業科 | 有機農業 | 30人 | 大田市波根町 | 2年 |
| | 野菜 | | | |
| | 花き | | | |
| | 果樹 | | | |
| | 肉用牛 | | | |
| 林業科 | | 10人 | 飯石郡飯南町上来島 | |

農業科

有機農業専攻



全国に先駆け新設した本専攻は野菜、水稻について有機農業の理念、土づくり、病虫害防除法、雑草の防除などの基礎技術を学びます。また、県内外の先進的に取り組んでいる有機栽培農家（サテライト校）の協力を得て事例講義や体験実習を行うほか、有機JAS認証の制度学習や実務を通し有機農業の新たな担い手を育成します。

林業科



森林の適切な管理方法や高性能林業機械を使用した木材の伐採、搬出など「森林を守り・育て・活かす」という視点に立って、森林・林業に関する知識や技術を実習中心のカリキュラムを通じて習得します。2年生の専攻実習においては「森林プランナーコース」と「森林エンジニアコース」のいずれかを選択し、森林経営の企画・提案力の向上、効率的な木材生産技術の向上に取り組めます。

野菜専攻



本県の主要野菜であるメロン、トマト、きゅうり、いちごなどの栽培に取り組んでいます。野菜の基礎をしっかり学習しながら、学生自らが1棟ずつハウスを担当して栽培計画を作成し、育苗から収穫・出荷まで、責任を持って栽培管理を行うことで、一貫した栽培技術と経営感覚を身につけます。また、新技術としての島根型養液栽培システムや、美味しません認証を取得してトマトの栽培や販売を行うなど、新たな取り組みにも挑戦を続けています。

花き専攻



きく・トルコギキョウ・シクラメンなどの「島根の花」振興品目を基本とし、学生の主体性を重視して、栽培計画の作成、栽培（播種・育苗・栽培管理・収穫）、出荷、結果の発表と、栽培から販売までの一貫した栽培技術と経営感覚を習得します。また、環境にやさしい花き栽培を認証するMPS認証や花育、トルコギキョウの島根県特許技術など、「ここでしか学べない」ことにも挑戦しています。

果樹専攻



本県の主要果樹であるぶどう、西条柿、梨をはじめ今後消費拡大が期待されているブルーン、サクランボ、スモモ等を栽培しています。ぶどうのシャインマスカットや梨のなつしずく等の新品種や養液土耕栽培システム、ジョイント仕立て等の新技術を導入しながら、先進的果樹経営を目指して、日々の実践を通じて栽培技術・知識を習得します。

肉用牛専攻



優秀な肉用牛経営の担い手を育成するため、家畜飼養管理、家畜栄養飼料、家畜繁殖、牛胚移植概論及び畜産経営などを学び、畜産に必要な幅広い知識を身に付けます。農場では繁殖・肥育一環経営を軸に肉用牛の生産・管理技術を身に付け、大型農業機械による飼料作物の栽培・収穫・貯蔵技術を実践します。また、家畜人工授精師、削蹄師、家畜商や大型農業機械などの資格にも挑戦します。

在校生からのメッセージ

有機農業専攻2年 三井 孟



有機農業専攻は化学農薬、化学肥料を使わずに栽培する技術を学べる全国でも珍しい専攻です。またこの専攻には、水田と畑があり、水稻と野菜を同時に学ぶことができます。

水稻では除草剤を使わず育てた高品質の有機米を、野菜では有機栽培は珍しいと言われているイチゴをはじめ多くの野菜を作っています。

私は農業の経験が全くなかったのですが、安全で美味しい野菜に興味を持ち、有機野菜栽培農家を目指して入学しました。

1年生のときは、オクラやイチゴ、アスパラガスなどを栽培し、2年生の卒論プロジェクトでは、将来の就農をイメージした少量多品目での経営について調べるために5品目の野菜を育てています。

生活面では、寮を利用している人が多く、農業を学ぶ仲間たちと毎日楽しく過ごしています。実習後のスポーツサークルで体を動かしたり、休日にはご飯を一緒に作って食べたり、テスト前に集まって勉強会をしたりしています。

学校では、自分の作物の管理、講義や実習、校内行事などで忙しい毎日ですが、とても内容の濃い農大生活を送っています。ぜひ農林大学校有機農業専攻で学び、充実した2年間を楽しんでみませんか？



野菜専攻2年 景山 章裕

私は普通高校から農大に入学しました。以前から農業がしたくて、将来農業をするための知識や技術を習得しようと思ったからです。

野菜専攻では、イチゴ、メロン、トマト、ナス、葉物などを栽培しています。入学してすぐは、先輩の栽培の手伝いなどを行います。そこで、先輩の成功したところや上手くいかなかったところを見て、栽培の知識やコツなどを勉強します。そこで得た経験を生かして、夏からはほぼ一人で栽培を始めます。一人でハウスを管理することが初めての人ばかりなので、失敗もします。ですが先輩や先生からアドバイスをいただき栽培していきます。この時に、卒論プロジェクトを見据えた品目を栽培し、その経験を基にして、一年生の終わりから本格的に卒論プロジェクトの栽培を始めます。自分が栽培した作物の収穫物は自ら調整し青果市場に出荷します。全員が、責任を持って栽培から出荷までを行います。

忙しい中でも、みんなが和気あいあいとして、とても楽しいです。親睦会なども行って楽しく日々を送っています。興味のある方は、ぜひ、オープンキャンパスに来てみてください。

忙しい中でも、みんなが和気あいあいとして、とても楽しいです。親睦会なども行って楽しく日々を送っています。興味のある方は、ぜひ、オープンキャンパスに来てみてください。

花が1輪あるだけで、部屋の雰囲気は華やかになり、人々に癒しを与えてくれます。

私は、そんな花が大好きです。高校時代から花について勉強して今年で5年目になりますが、まだまだ新しい発見があり、毎日農大で楽しく過ごしています。花き専攻では、トルコギキョウ・アジサイなど多くの品目を栽培しています。圃場準備から播種、栽培管理、収穫、出荷と一連の作業が多くありますが、みんなで協力して乗り越えています。

また、花き専攻では地元の保育園と連携し“花育”を年に2回行っています。収穫や花束作り、アレンジメント作りなど花と触れ合う機会を作り、園児と一緒に活動することは、私達にとってとても良い勉強になります。園児から直接「楽しかった」という声を聞けるのが何よりも嬉しいです。

私は、将来生花店で働きたいと考えています。農大は担い手の育成だけでなく、私のように花き産業で活躍したいと思っている学生にとっても、将来につながる実習や授業が多くあります。私はここでフラワー装飾技能士2級という自分の将来に活かせる資格も取ることができました。花っていいな！と思ったそのあなたを待っています。



花き専攻2年 和田 拓斗

イベントカレンダー

4月

入学式



5月

春季スポーツ大会
鳥取農大交歓会

6月

就農ガイダンス

7月

農大祭
就職セミナー
オープンキャンパス



8月

夏季スポーツ大会
オープンキャンパス

9月

前期試験
先進農林業者体験学習(2年)



10月

県外(大阪)学習(2年)
中国地区農大生の集い

11月

秋季スポーツ大会



12月

日本農業技術検定

1月

冬季スポーツ大会
中国四国農業大学校プロジェクト発表会
卒論課題発表会

2月

就職セミナー
全国農業大学校プロジェクト発表会



3月

後期試験
卒業式

果樹専攻では、主にブドウを栽培しており、その他に梨、柿、すもも、サクランボなどを栽培しています。

私は、普通高校出身だったので、初めはわからないことが多く大変でした。しかし、先輩や先生方に丁寧な指導をしていただき、できないことができるようになってきました。

農大では、午前は講義、午後は実習になっています。

講義では農業簿記のことや農業機械のことなど農業全般のことを学びます。実習では剪定、ブドウを種なしにするジベレリン処理、病害虫防除など植物の管理をします。

どれも大変な作業ですが、大変だからこそやり終えた達成感はとても大きいです。

また、季節毎にスポーツ交流会や、実習で作った物を売る農大祭などのイベントがあります。

他にも将来に役立つ資格も多く取得できます。農業に興味がある方は是非農大に来てください。



果樹専攻2年
大谷 庸介

私は現在、肉用牛専攻に所属し、44頭の肉用牛を飼育しています。

私は農林大学校に入るまでは、和牛の知識はほとんどありませんでした。高校では乳牛を専門としてやってきたのですが、ふと自分でも和牛を育ててみたいと思い農林大学校の肉用牛専攻に進学しました。知識のない私はとても不安でしたが、先生たちに基本的なところから専門的なところまでしっかりと教えてもらい、日々成長していくのが実感できました。

また、免許を取得するのにあたって、先生方に全力でサポートしていただいています。大型特殊自動車、けん引、家畜人工授精師免許などの取得のために、現在、私は日々努力しています。

学校での一日は、午前講義で午後は実習です。実習としては、牛の放牧場や圃場の管理、牛の健康確認や繁殖、肥育牛の飼料給与、牛舎の清掃、ブラッシングや体重測定などです。

また、卒業論文として、子牛の発育向上のための追加哺乳試験に取り組んでいます。これは親の母乳だけでは乳量が不足していると判断した時に追加の人工哺乳をを行い発育を向上させるための試験です。

将来は牛に関する仕事に就業することを目標にしています。日々努力することで知識や技術は向上し、自信ができました。私はできるだけ多くの人に島根県立農林大学校を見に来てもらって学校のいいところを知ってほしいです。

農業に興味ある方は、この農林大学校でやる気を持って学べば、きっと将来のために役立ちます。



肉用牛専攻2年
上田 政和

皆さんは林業に対してどのようなイメージを持っていますか。林業は「きつい」「危険」「汚い」など様々なイメージをお持ちだと思います。私も初めこの林業科に入学するまではこのように考えていました。そんな私が林業科に入学しようと思ったのは、自然が好きだったという単純な理由からでした。疑問に思う方もいらっしゃるでしょうが、本当にその理由だけで林業科に進学しようと思ったのです。

そして林業科に進学した私ですが、入学してから1年で林業に対する考えは一変しました。それは、私が今まで林業の断片的な一面しか知らなかったからです。たくさんの体験を通して私は「林業は楽しい」と思うようになりました。確かに大変な作業もありますが、仲間たちと共にその作業をこなしていくことでドンドン自分が成長していくことを実感出来ます。優しい先生方や、外部講師の方々にも指導していただけるので就職してから即戦力として活躍することが出来ます。そして何より飯南町の大自然に囲まれながら身体を動かすことはとても気持ちが良いです。

林業は進化を遂げています。林業機械と呼ばれる重機は女性でも簡単に操作をすることが出来るので、実際に現場で活躍される女性の方も増えています。さらに、木から抽出された成分が実際に食品に使われています。

私たちの「食」まで支えるようになりつつある林業。そんな林業の事を深く学ぶことができる林業科に入学してみませんか。



林業科2年
小林 孝央

農大の一日

8:40~

8:50~10:20

10:30~12:00

12:00
~13:00

13:20~14:50

15:10~16:40

~17:00

HR

午前は講義中心

午後は実習中心

1限(90分)

2限(90分)

昼休み

3限(90分)

4限(90分)

課業
整理



教育科目

| | | | |
|-------------|--|---|---|
| 農 業 科 | 共通科目 | 農業概論、作物概論、植物生理、土壌肥料、作物保護、農業気象、園芸施設、農業機械、農業機械演習、農業経営、マーケティング概論、マーケティング演習、農業政策、アグリビジネス、食の安全安心、農業組織論、野生鳥獣被害対策、環境保全と農業、農業簿記、農業簿記演習、情報処理、農業基礎実習 ほか | |
| | 専 攻 科 目 | 有機農業 | 有機農業、有機稲作、有機農業先進事例講義、専攻実習（有機野菜・有機稲作）、地域農業実習、地域有機農業体験実習（先進農家での有機栽培体験）、先進地農林業者等体験学習 |
| | | 野菜 | 園芸各論（野菜）、専攻実習（野菜）、地域農業実習、先進地農林業者等体験学習 |
| | | 花き | 園芸各論（花き）、専攻実習（切り花、鉢花等）、地域農業実習、先進地農林業者等体験学習 |
| | | 果樹 | 園芸各論（果樹）、専攻実習（ぶどう、柿、梨、いちじく等）、地域農業実習、先進地農林業者等体験学習 |
| 肉用牛 | 家畜飼養管理、家畜繁殖、家畜栄養飼料、草飼料、家畜解剖生理、家畜審査、家畜育種、家畜衛生、牛胚移植概論、畜産経営、専攻実習、地域農業実習、先進地農業者等体験学習 | | |
| 林業科 | | 林業概論、森林マネージメント、森林計画、樹木、森林測樹、基本測量、応用測量、林業経営、林業機械、森林作業システム、野外活動、森林機能、森林路網、育苗技術、育林技術、森林保護、木材利用、木材流通・販売、森林資源活用、森林土壌、木造建築、情報処理、専攻実習、先進地農林業者等体験学習 | |

先進農林業者等体験学習

2年生時に、先進的農林業地域や農林家で行う体験学習です。

| | |
|---------|--|
| 目的 | 農林業経営及び農林業での生活を体験し、農林業に関する知識や技術を習得するとともに、農林業の担い手としての意欲の醸成を図る |
| 受入農林業者等 | 農林業後継者の教育に理解と熱意のある、優れた農林業経営を行っている農林業者、又は農業生産法人、林業事業体等 |
| 期間 | 農業科はおよそ1か月、林業科はおおむね3週間 |

資格・免許

在学中、次の免許又は資格等が取れるように指導・便宜を図ります。

●全科共通

- ◇大型特殊運転免許 ◇フォークリフト運転技能者
- ◇ボイラー取扱技能者 ◇狩猟免許（わな猟免許）
- ◇車両系建設機械運転技能者（整地・運搬・積込及び掘削用）
- ◇毒物劇物取扱者（一般、農薬用品目）
- ◇危険物取扱者（乙種4類） ◇けん引免許（農耕車限定）
- ◇ガス溶接 ◇小型移動式クレーン運転技能者
- ◇日本農業技術検定 ◇フラワー装飾技能士（2級・3級）
- ◇刈払機取扱作業者

●肉用牛専攻

- ◇家畜人工授精師 ◇家畜商 ◇削蹄師

●林業科

- ◇林業種苗生産事業者 ◇林業架線作業主任者
- ◇機械集材装置運転者 ◇玉掛け技能者
- ◇チェーンソー作業従事者
- ◇森林情報士（2級） ◇救急法救急員
- ◇車両系林業機械運転業務従事者

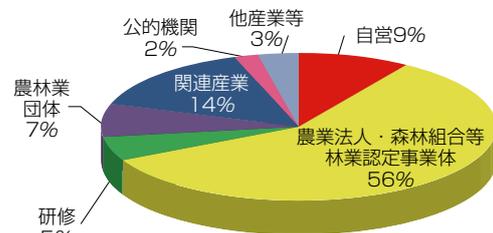
学校行事

- 農大祭をはじめ、スポーツ交流会、鳥取農大との交歓会など、学生自治会が中心になって運営しています。
- オープンキャンパス「緑の学園」を夏に開催しています。（平成28年は7月29日、8月7日、10日、22日）

進路

卒業後の進路は、すぐに就農・就業（自営や農業法人、森林組合等に就職）する人、農協などの農業団体や農業資材販売など農業関連企業へ就職する人など多様ですが、それぞれの目標に向かって進みます。

本校では無料職業紹介事業を実施しており、個々の学生に応じた進路相談を行っています。



卒業生の進路状況 (過去3年間: 97名)

主な進路 (H26、27年度実績)

- 自営就農：野菜、果樹
- 農業法人等：勝部農産、旭養鶏舎、山下牧場、石岡牧場、ゆとりの里 下古志ファーム 13、アグリみと、黒田農場、神田農産、出羽、ほなみ、槻之屋ヒーリング、まるなつ農場、イオンアグリ創造、中山農場、多久和農園、棕木畜産、大谷畜産、喜和会太陽の里、小林電気
- 農業団体：JAしまね、出雲市斐川土地改良区
- 森林組合等：森林組合（松江、出雲地区、飯石、邑智郡、高津川、西川広域、山口東部）、須佐チップ工業
- 関連産業：邑南町観光協会、ぐりーんはーと、ジュンテンドー、三次花壇、ババ・ピエール、ヤンマー農機中四国カンパニー、一畑パーク
- 公的機関：島根大学

研修部門

農林大学校では、これから農業を始めようとする方などを対象に、各種の研修を行っています。
各詳細については別途お問い合わせください。

これから農業を始めようとする方への研修

| 研修名 | 内容 | 対象者 | 開催時期 |
|--------------|--|----------------------------------|----------------------|
| 島根県農業担い手育成研修 | 新たに就農しようとする方を対象とした農業技術研修で、有機農業・野菜・花き・果樹・畜産（肉用牛）のうち希望する分野で講義及び実習を通じて基礎的な栽培・飼育技術を身につけることができます。 | 新たに就農する方 定員 5名 | 4月～翌3月 |
| 有機農業実践研修 | 農林大学校ほ場での栽培実習と講義を通して、有機栽培の基礎知識・栽培技術等を習得します。 | 有機栽培実践者 有機栽培予定者 定員 10名 | 5月～10月 (週1回、全23回) |
| 野菜実践研修 | 農林大学校ほ場での栽培実習を通して、野菜経営の基礎知識・栽培技術等の習得を行います。 | 島根県へのUターン者等 (予定者を含む) 定員 5名 | 5月～9月 (週1回、全16回) |

林業技術を高めたい方への研修

| 研修名 | 内容 | 対象者 | 開催時期 |
|-----------|---|-----------|--|
| 林業エンジニア研修 | 林業の生産性向上を図るため、路網と高性能林業機械を活用した効率的な作業システムの導入・運用に必要な専門的かつ高度な知識・技術を備えた人材を育成します。 | 認定事業体の職員等 | 路網・機械・架線・作業システムコースを設定 6月～1月の間に各2～10日間実施 |

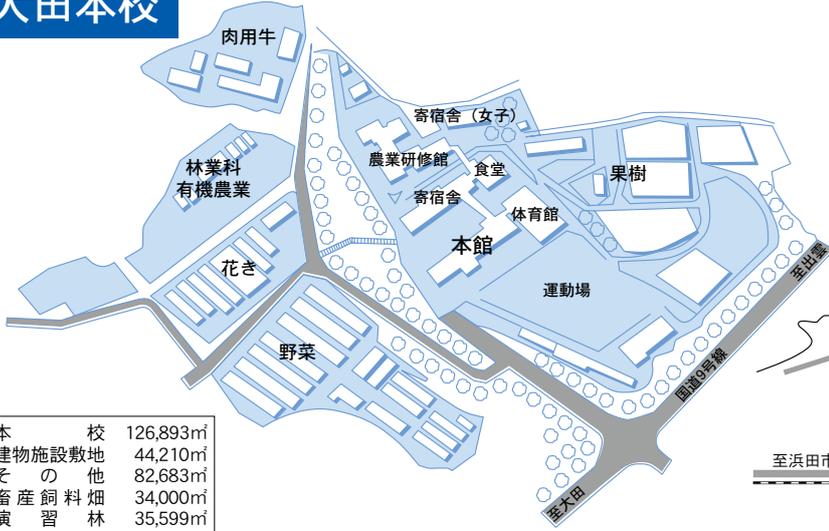
その他の研修

| 研修名 | 内容 | 対象者 | 開催時期 |
|---------------|--|--------------------|-----------|
| しまねの農林業体験教員研修 | 県内の小中高校教員を対象に、農作業体験等を通じて農林業に対する理解促進や、農林業体験学習への取り組みを支援します。島根県教育委員会との共催研修です。 | 県内小中高校教員 定員 30名 | 8月中旬（2日間） |



農林大学校 施設・設備 配置図

大田本校



案内図

- ・波根駅から徒歩約15分
- ・大田市駅から約6km



| | |
|--------|----------|
| 本 校 | 126,893㎡ |
| 建物施設敷地 | 44,210㎡ |
| その他 | 82,683㎡ |
| 畜産飼料畑 | 34,000㎡ |
| 演習林 | 35,599㎡ |



清友寮(せいゆうりょう)

農林大学校敷地内にある男子寮です。部屋は一人一室です。



友波寮(ゆうなみりょう)

農林大学校敷地内にある女子寮です。部屋は一人一室です。



飯南寮(いいなんりょう)

飯南校から約3kmの地点にある学生寮(男女)です。部屋は一人一室です。

※清友寮・友波寮は有線・無線LAN、飯南寮は有線LANによるインターネット接続が可能です。

林業科(飯南校)



※飯南校は島根県中山間地域研究センター施設の一部を使用しています。

島根県立農林大学校

ホームページやfacebookで学校の様子を随時掲載しています。
【新着情報】をチェックしてみてください。



(大田本校)

〒699-2211 島根県大田市波根町970-1
TEL 0854-85-7011 FAX 0854-85-7113

(林業科)

〒690-3405 島根県飯石郡飯南町上来島1207
TEL 0854-76-2100 FAX 0854-76-2103

E-mail nodai@pref.shimane.lg.jp

ホームページ <http://www.pref.shimane.lg.jp/norindaigakko/>
facebook <https://www.facebook.com/shimane.norindaigakko/>